



# ユニセフハウスを訪問して

報告者 岐阜県岐阜市立長森南中学校 飯島昌志先生

## ポイント

2007年5月、修学旅行の班別活動で、3年2組1班は、ユニセフハウスを訪問しました。事前学習を終えての訪問でしたが、生徒たちは開発途上国の現状にびっくりしたようでした。多くのことを学ぶことができた訪問になりました。

アルミ缶回収で貯めた募金を贈呈することもできました。



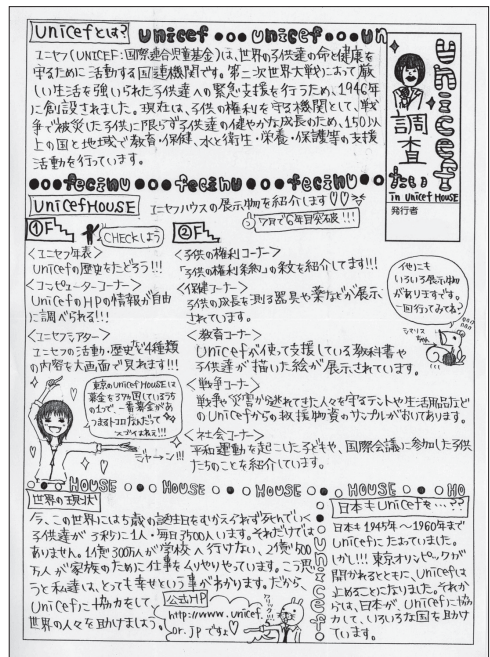
展示ボランティアさんに、説明をしていただきました。



地雷の種類や地雷探知機、地雷教育などについて話を聞きました。



アルミ缶回収で貯めた募金を贈呈し、感謝状をいただきました。



ユニセフハウス訪問で学んだことを、壁新聞“Unicef 調査たい”にまとめました

## 生徒感想

ユニセフで実際に使用しているものやレプリカなどが置いてあり、説明もわかりやすく勉強になりました。その中で特に心に残っていることは、世界にはまだ多くの地雷が埋まっています、足をなくしてしまい困っている子供がたくさんいるということです。これから国際理解について学習していくうえで、世界には苦しんでいる人々がたくさんいる、ということをお忘れず、いろいろな人にユニセフハウスで学んだことを伝えていきたいと思えます。また、学校で行っているアルミ缶回収をとおして、積極的にユニセフに協力していきたいです。